

★教育映画祭優秀作品賞受賞★

おぎねのまじりもの

企画・製作

八頭司 享

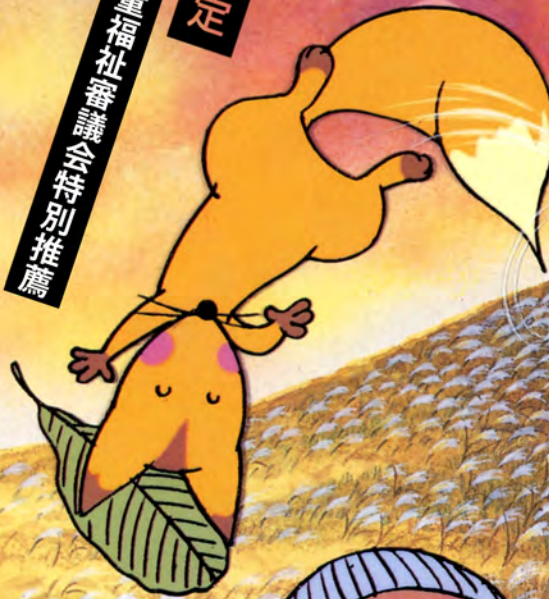
原作 たまおか みちこ(かもがわ出版刊)

おばあさんと3匹の子狐の
ほのぼのとした
あたたかい感動のアニメーション映画!

優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議推薦
大阪府教育委員会推薦

厚労省中央児童福祉審議会特別推薦
文科省文選定

第38回
アジア太平洋映画祭
THE 38TH ASIA-PACIFIC FILM FESTIVAL
参加作品



おばあさん

桜 むつ子

写真屋さん

長門 勇

お医者さん

鳳 啓助

ナレーター

池田 昌子

主題歌

三波 豊和

監督 大谷 恒清

プロデューサー 茂呂清一 脚本 高橋 稔 音楽 森 琢磨

作画監督 阿部 隆 美術監督 伊藤岩光 撮影監督 玉川芳行

制作協力/東映動画株式会社/タバック/東映化工/メルヘン社/青二プロ

制作/共和教育映画社

アニメーション映画

★教育映画祭優秀作品賞受賞★

こぎつねのおくりもの

文部科学省選定

企画・製作 八頭司 享



監督 大谷 恒清 作画監督 阿部 隆 美術監督 伊藤 岩光 価格①¥315,000 ②¥63,000 DVD¥63,000 (税込)

たまおかみちこ(原作者)さんの大好きなことば「なんでも最初は夢から始まるのよ」……?!

夢から生まれたおばあさんと三匹の子狐のあたたかいほのぼのとした楽しい童話の世界へご案内します——!

〈ものがたり〉

峠に住むいたずらな三匹の子狐は、お父さん狐から悪いことに使ってはいけないよと化け方を教わります。

ある日、峠の下の茶店のおばあさんが、『おだんご』に巻く朴の木の葉っぱを拾いに峠までやると、一つだったお地蔵さまの横に、小さな可愛いお地蔵さまが三つ並んでいるのでビックリします。三匹の子狐が化けたこのお地蔵さまは、戦争で亡くなったおばあさんの三人の息子にそっくりだったのです。おばあさんは涙を流して抱きしめるのでした。

翌日からおばあさんは、毎日、子狐のお地蔵さまに『おだんご』をお供えし、何やら楽しそうに昔のことを語ってくれるのでした。

峠にも初雪が降り、冬がやって来ました。

おばあさんは、お地蔵さまに「ちっちゃいお地蔵さまよ、雪が深こうなったらもう来れんでよ、今日はいっぱい持ってきたで」と、おだんごや柿をお供えしてくれました。峠に降る雪はだんだん激しくなり、おばあさんは「又、春に来るでな」と峠を下っていきました。その時、一枚の写真を雪の上に落してい



ったのです。子狐たちは、その写真を奪い合って破ってしまいました。そこへおばあさんが戻ってきます。雪の上の破られた写真を見て「誰がこんなひどいことを」と泣き崩れます。おばあさんにとっては、たった一枚しかない三人の息子の写真だったのです。

雪のやんだ日、三匹の子狐は町に向って走ります。子狐たちが、おばあさんの子供にそっくりだと話していたことを思い出し、写真屋さんにその写真を写しにいったのです。

さて、三人の子供に化けた子狐たちは……はたして!?

やがて、雪もとけて春がやって来ました。

美しく咲き乱れる菜の花の中を、飛んだり跳ねたり、子狐たちは楽しくってしかたありません。しかし、気になることは、おばあさんがまだ一度も峠に姿を見せないことです。子狐たちは、おばあさんの茶店に行くことにしました。茶店にはいつもの『おだんご』の旗が掛けていません。子狐たちが縁側からそうっと中を覗いて見ると、おばあさんは布団の中で寝ているのです。家の中に入っておばあさんの額に手を当てると、焼けるように熱く、子狐たちはビックリします。……おばあさんは熱を出してずっと寝ていたようです。

子狐たちは「大変だ! 医者だ!」と叫び、遠くの町まで医者を呼びに行きます。そして、三人、いや三匹が力をあわせたので、おばあさんの命は助かったのです。

何日かたち、おばあさんはすっかり元気になり、春の日ざしをいっぱい浴びて、峠のお地蔵さまに『おだんご』をお供えしているのです。 上映時間 30分



共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com